

8 路面電車南北接続事業の推進について

本市は、公共交通を軸とするコンパクトなまちづくりを推進しており、富山駅周辺地区においては、交通拠点機能を一層強化するとともに、県都富山市の玄関口に相応しいLRTの走る高質で魅力ある都市空間の創出を目指しております。

路面電車の南北接続は、都心地区と北部地区とのアクセス強化や利便性向上などの公共交通活性化を図る観点から、新富町一丁目から牛島町間に軌道を約250m延伸し、富山駅南側の富山地方鉄道富山軌道線と北側の富山ライトレール富山港線の接続を図るものです。延伸区間には、制振軌道を採用し、高架下にバリアフリーに対応したハイグレードな新停留場を設置することにより、新幹線、在来線からの乗り換え利便性が格段に向上します。

なお、事業の手法は、軌道の整備は富山市が行い、運行は富山地方鉄道株式会社及び富山ライトレール株式会社が行う上下分離方式を採用するとともに、低床車両(LRV)を順次導入し、概ね平成30年度の全線開業を目指します。

このうち、第1期事業が平成26年度末に完成することから、引き続き、第2期事業の推進について格段の配慮をお願いします。

- 1 第1期事業（明輪町73番1～新富町一丁目6番1）
 - (1) 事業年度 平成24年度～平成26年度
 - (2) 事業費 約1,496百万円
関連事業費 約1,556百万円
総事業費 約3,052百万円
 - (3) 事業延長 約160m
 - (4) 事業者 富山市、富山地方鉄道株式会社

- 2 第2期事業（明輪町73番1～牛島町176番）
 - (1) 事業年度 平成27年度～平成30年度
 - (2) 事業費 約478百万円
関連事業費 約593百万円
総事業費 約1,071百万円
 - (3) 事業延長 約90m
 - (4) 事業者 富山市、富山ライトレール株式会社

路面電車南北接続事業計画図

